

平成29年11月9日
 東日本高速道路株式会社
 北海道支社

【第2弾】冬用タイヤ未装着がまだ2割 朝夕は路面の凍結に注意！

～ 11～12月は事故が多発します！ 早めの冬用タイヤへの交換を！！ ～

NEXCO東日本北海道支社(札幌市厚別区)は、本格的な降雪・積雪期を迎えるにあたり、早期に冬用タイヤへの交換をお願いするため、冬用タイヤの装着状況調査を実施しており、その途中結果をお知らせします。

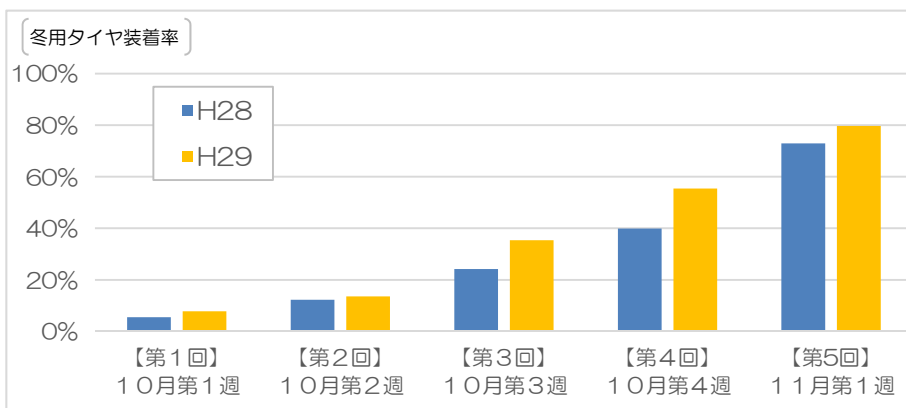
道内の高速道路では10月23日に今冬期初の除雪作業を行っておりますが、まだ2割のお客さまが冬用タイヤを未装着です。高速道路上では、夏タイヤ装着車による立ち往生や事故も発生しています。雪道での夏タイヤの走行は大変危険ですので、本格的な降雪・積雪の前に冬装備への交換をお願いいたします。

次の調査は11月10日(金)に実施し、結果をお知らせします。

1. 調査結果

調査箇所(※)		調査日/冬用タイヤ装着率					
		【第1回】 10月6日 (金)	【第2回】 10月13日 (金)	【第3回】 10月20日 (金)	【第4回】 10月27日 (金)	【第5回】 11月2日 (木)	【昨年(H28)調査】 10月31日
道央自動車道	大沼公園IC付近	8.0%	12.5%	34.2%	31.4%	62.9%	68.9%
	室蘭IC付近	3.6%	14.6%	10.0%	33.3%	62.9%	64.1%
	苫小牧東IC付近	15.9%	14.7%	15.8%	52.6%	77.5%	58.8%
	北広島IC付近	8.3%	11.3%	28.8%	47.1%	61.9%	75.2%
	岩見沢IC付近	0.0%	9.4%	21.3%	73.1%	86.2%	100.0%
	旭川鷹栖IC付近	5.2%	12.2%	33.0%	65.9%	96.7%	100.0%
札幌自動車道	朝里IC付近	13.8%	13.9%	37.9%	28.2%	63.2%	97.1%
道東自動車道	音更帯広IC付近	3.4%	24.0%	26.0%	54.2%	75.3%	66.7%
	十勝清水IC付近	7.7%	9.5%	69.7%	82.6%	93.4%	81.8%
全体		7.8%	13.6%	35.4%	55.4%	79.7%	72.9%

※調査場所は、各インターチェンジ(IC)付近の商業施設等の駐車場で実施しています。



上図【平均冬用タイヤ装着率比較】

11月に入りましたが、まだ2割以上のお客さまが冬用タイヤを未装着です。
 例年11月から最低気温がマイナスを下回り、路面が凍結しやすくなります。冬装備への交換とともに運転方法も冬向けにシフトチェンジをお願いします。

【調査の実施方法】

＜今後の調査予定日＞

11月10日(金)

＜実施場所＞

下記IC付近の一般道に面する商業施設等の駐車場

道央自動車道 大沼公園IC、室蘭IC、苫小牧東IC、北広島IC、岩見沢IC、旭川鷹栖IC

札樽自動車道 朝里IC

道東自動車道 音更帯広IC、十勝清水IC

＜調査方法＞

・商業施設等の駐車場において、駐車車両のタイヤ種別を調査員が目視で確認

・1回あたり、60分程度の確認

＜調査結果＞

調査実施日の翌週に公表します。

(調査日の変更等の理由により、予告なしに変更することがあります。)

2. NEXCO東日本北海道支社からのお願い

・『降雪・路面凍結前に早めの冬用タイヤ装着』をお願いします

夏用タイヤは積雪・凍結路面でスリップを起こしやすく、重大な事故につながる可能性がありますので、早めの冬用タイヤ装着をお願いします。

・『雪道での運転はスピード控えめ安全運転』をお願いします【参考資料】

シーズン初めの雪道は雪道運転の感覚が戻っていないので、冬用タイヤを装着済みでも車間距離を十分取ってスピードを控えめに。急ハンドル、急ブレーキなどの操作は行わず、安全運転をお願いします。

・『お出かけ前もお出かけ中もこまめな情報収集』をお願いします

冬の高速道路は天候が急変します。お出かけ前はもちろん、お出かけ中も道路情報や気象情報などの情報をこまめに確認し、ゆとりある運転をお願いします。

NEXCO東日本の情報サイト『ドラぷら』では、渋滞予測や冬の高速道路講座などの情報を適用しています。また、『ドライブトラフィック(ドラとら)』では高速道路の気象(雪道)予測や路面状況(雪道ライブカメラ)の情報を提供しております。

※ドラぷらアドレス <http://www.driveplaza.com>

※ドラとらアドレス <http://drivetraffic.jp>

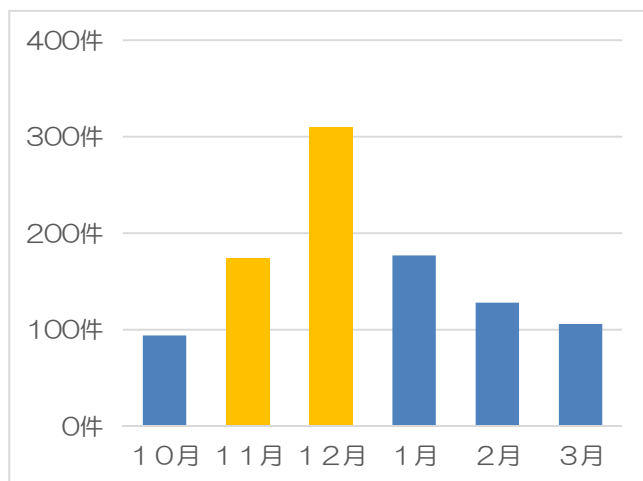
●11～12月は事故が多発！

例年、10月下旬の初雪から冬が深まる12月下旬にかけては、冬道運転の感覚が戻らずに夏の感覚で運転しがち。このため、11月から12月にかけて交通事故が増加します。冬道の運転に慣れるまで、スピードダウンし車間距離をとって、ゆとりのある運転をしましょう。

右図【北海道内高速道路上の事故件数】

(平成28年10月～平成29年3月)

(NEXCO東日本調べ)



●シーズン初めの降雪日

今年はずでに旭川・札幌・帯広で初雪が観測されました。本格的に雪が積もり出す前の早めの冬装備の準備をお願いいたします。

右図【北海道の雪の初日の観測状況】

(気象庁札幌管区气象台調べ)

観測官署	初雪日		
	平年	昨年(H28)	本年(H29)
旭川	10月23日	10月20日	10月17日
札幌	10月28日	10月20日	10月23日
帯広	11月7日	10月24日	10月23日
室蘭	11月1日	10月24日	未
函館	11月3日	10月30日	未

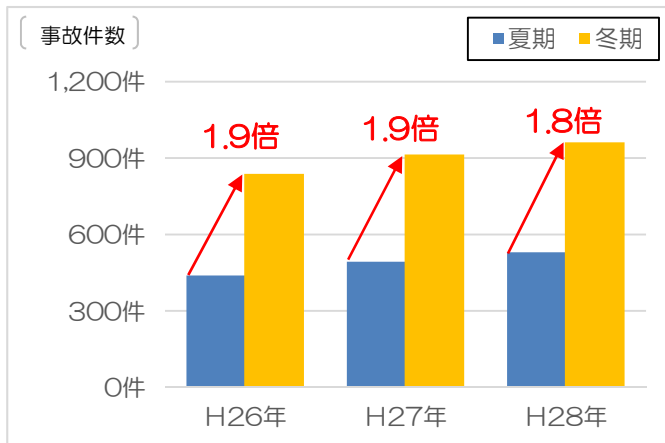
●冬の事故件数は夏の約1.8倍！

北海道では冬期(11月～翌4月)の高速道路での事故件数が、夏期(5月～10月)の事故件数の約1.8倍に上ります。冬道運転はより一層の注意を払った運転を心がけましょう。

右図【北海道内高速道路上の季節別事故件数】

(平成26年5月～平成29年4月)

(NEXCO東日本調べ)



●滑りやすさはこんなに違う！

雪道は道路(路面)自体が滑りやすくなります。早めの冬タイヤへの交換などの装備と、冬道に適した運転操作をお願いいたします。

右図【路面状況による停止距離への影響】

(一社)日本自動車タイヤ協会調べ)

<http://www.jatma.or.jp/winterdrive/>

